

令和8年6月 斐伊川水系水質情報

令和8年6月(宍道湖1日・中海15日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	3. 7	△	やや低い	3. 1	△	平 年 並 み	4. 1	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0. 30	○	良 好	0. 25	○	良 好	0. 32	○	良 好
全リン	上層	0. 034	△	平 年 並 み	0. 031	○	平 年 並 み	0. 046	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	8. 5	○	良 好	3. 5	○	良 好	10	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	3, 060	△	平 年 並 み	12, 500	△	平 年 並 み	10, 400	△	平 年 並 み
	下層	3, 380	△	平 年 並 み	18, 200	×	やや高い	15, 000	×	やや高い
溶 存 酸 素	上層	8. 8		やや低い	7. 8		やや低い	8. 6		やや低い
	下層	6. 8		平 年 並 み	5. 1		平 年 並 み	5. 8		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.9	横ばい	2.8	やや上昇	2.7	上昇
全窒素	上層	0.27	横ばい	0.28	横ばい	0.24	やや上昇
全リン	上層	0.034	横ばい	0.027	横ばい	0.022	上昇

宍道湖の透明度は1.8mから1.8mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.6mから2.7mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は2.5mから2.5mと横ばいで、良好となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%